

2018年5月31日

## (なにわ考房) 活動報告

田中 聡

日本の一般社会人の科学への常識的な知識は、先進国の中で最下位に近いと言われてい  
ます（添付資料参照）。

一般社会人の数学や科学への興味や関心を広めるため、2012年4月から数学や科学  
の講座を大阪（毎日文化センター）や奈良（西大寺ウェルネス）で開催してきました。  
この講座は、市民講座のような1回限りの講座ではなく、中学生程度の基礎から大学の  
教養程度までの講義を継続して行っています。最も長い講座は5年余りで今も続いてい  
ます。数学や科学（特に相対論や量子論）に大変興味を持たれている方も少なからずお  
られます。（元々は、理系出身で技術畑や開発畑の仕事をされている方が多いです。）

さて、奈良の教養講座のサークル「おちこち広場」（代表：田中保夫氏）から、毎日文  
化センターを通じて依頼があり、2018年4月から月一回、「数学と科学を話」を、  
なにわ考房として開催することにしました。受講者は、約30人ほどで、ほとんど定年  
退官された方ですが、興味を持っていただいています。

事後報告になり申し訳ありません。皆様のご了承よろしく申し上げます。

おちこち 広場

## 楽しく学ぼう

# 数学と科学

数学・科学の面白さを体験しましょう！

NPO法人:なにわ考房  
田中 聰

2018年4月

## カリキュラム(講座の内容)

1. アラビアやインドで発明された数の話  
数の成り立ち、素数、完全数など面白い数など
2. ギリシャの数学や科学(ピタゴラスやアルキメデス)  
数学や科学がどのように生まれたか? など、先人がいかに苦勞したか?
3. 音楽とピタゴラス  
音階の歴史、音とHz(ヘルツ)など
4. コペルニクスからガリレオ・ニュートン  
中世の天文学、惑星の運動、万有引力など
5. 光とアインシュタイン  
光速度の測定、相対性理論の発見など
6. 量子論の誕生から宇宙の誕生  
極々小さい素粒子から無限の広がりを持つ宇宙など
7. 和算(江戸時代の数学)  
日本にも高度な数学が発達していた。

